

日時	平成26年11月21日(金)3限目		場所	2年1組教室
対象クラス	2年1組(文系応用コース)			
教科書	高等学校現代文B(三省堂)		指導者	山田ゆう子
単元名	根拠を明確にして読解を深めよう			
科目の つけたい力	関心・意欲・態度	思考力・判断力・表現力	知識・理解	
	文章を的確に読解し、内容について批評を加えたり、考察を深めたりした結果を、適切な語句を用いて表現しようとする。	文章を的確に読解し、内容について批評を加えたり、考察を深めたりした結果を、適切な語句を用いて表現する。	語句の意味用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、表現上の特色をとらえ、自身の表現に役立てる。言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについて理解する。	
単元の 評価規準 (本時)	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉え、表現を味わおうとしている。	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえている。	
評価方法	「行動の観察」(バズセッション) 「記述の点検」(記述作文) 「記述の確認」(記述作文)	「行動の確認」(バズセッション＝ホワイトボードブレインストーミング) 「記述の確認」(記述作文)	「記述の確認」(記述作文) 「行動の観察」(ペアワーク)	
単元・教材 設定の理由	教材観	生徒は、1年次国語総合で夏目漱石の「夢十夜」を読み、「日本文学史」で近代における夏目漱石の文学史における視座を学習済みである。小説としては、1年次芥川龍之介「羅生門」2年次中島敦「山月記」山田詠美「ヒヨコの目」を学習し、書き手の意図や人物、情景、心情の描写のとらえ方、文体の特徴といった表現の味わい方についても基礎的な学習を積んできた。これまでの教材の中で最も長編であり、心理描写も繊細な「こころ」を学習することは、生徒にとって高次元の読む能力を育むことのできる教材である。		
	生徒観	国語総合、半年間の現代文Bの学習を通じて、ほぼ全員の生徒が、ペアワークでの言語活動による思考の深化、70字作文、120字作文、相互添削、全体の流れをつかむ展開図作成をできるようになっている。さらに、「日本文学史」の学習を通じて、「プレモダン」と「モダン」と「ポストモダン」の相違点の概略もつかんでいる。しかし、作品の描写を緻密に分析し、根拠をもって論述することに対して難しさを感じ、読解の稚拙さを克服したいと多くの生徒が考えている。		
	指導観	作品の描写を緻密に分析し、社会的背景を押さえ、根拠をもって分析することに対してまだ十分に習熟していないため、課題解決型の言語活動を主軸にしながら、主体的に読み解き、十分な分析を促しながら、主題に迫らせたい。		
単元の 指導計画	別紙			

(注) 本学習指導案は、「平成26年度 思考力・判断力・表現力を育成するための指導方法の工夫改善についての実践研究」の研究成果として作成しているため、通常の指導案と書式が異なっている箇所があります。ご注意ください。

本時の題材	根拠を明確にして読解を深めよう
本時の目標	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。【読む能力】 (文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。)
言語活動 (表現活動) のスタイル	ペアワーク、バズセッション (ホワイトボードブレインストーミング)

	生徒の学習活動	言語活動・その他	指導内容	評価の方法
導 入	1 本時の学習内容と目標を知る。 (2分)		○私(先生)の行動、発言、心情の描写の考察を通して、根拠を明確にして読解を深める力をつけるという本時の目標を確認させる。	
展 開	2 前時の内容である「狼が隙を見て羊の咽喉笛へ食らいつくように」という描写から「私」の心情を理解する。 (10分)	120字作文 (代表生徒板書) ペアワーク (相互添削)	○根拠を明確にして、「私」の心情を理解させる。 a 「狼」＝優位に立っている私 b 「羊」＝ <u>精進することなく恋に</u> 苦悩するK c 「隙を見て羊の咽喉笛に食らいつく」＝Kの弱みにつけ込んで恋の成就を諦めさせること	【記述の確認】
	3 Kの「理想」と「現実」を再度考察する。 (15分)	ホワイトボードブレインストーミング	○根拠を明確にして、Kの「理想」と「現実」を理解させる。 理想 ↑ ↓ 現実 ・精進 ・禁欲(ストイック) ・節欲 ・道のためにすべてを犠牲 ・プラトニックラブも否定 ・欲 ・性欲 ・プラトニックラブ ・我欲(エゴイスティック) のために理想を放棄	【行動の確認】 書き手によって設定され、表現された人物の状況、人物が行動する場面の情景、人物の心情の推移を間違いなく捉えている。
	4 考察した結果を発表する。 (10分)	I C T		
	5 私とKが近代的思考(モダニズム)の知識人であることを理解する。 (10分)	I C T	○モダニズムを理解させる。	
まとめ	6 本時のまとめをする。 (3分)		○根拠を明確にして、読解を深める力をつけたことを確認させる。	

